



# つよい子

令和7年度 学校だより  
第13号  
余市町立大川小学校  
令和8年3月24日

【令和7年度 重点目標】 ◎ 『伝えること』を意識して生き生きと表現する子の育成  
◎ 思いやりの心を持ち ルールとマナーを守る子の育成

## 学校の伝統 ～ 卒業式の姿から ～

校長 大山 敏広

- ◆本校の1年間が修了いたしました。  
この一年間の皆様のお力添えに、心からお礼申し上げます。
- ◆3月19日（木）に、第79回卒業証書授与式を挙行いたしました。6年生児童は、堂々と胸を張り、未来につながる扉を開け、小学校を巣立っていきました。会場の全員が卒業生の旅立ちを心から祝う、素晴らしい卒業式であったと感じています。  
参列いただきました御来賓並びに御家族の皆様、誠にありがとうございました。
- ◆とても素敵な6年生でした。素直で、人のために一生懸命に働く、気持ちのよい子どもたちでした。そして、6年生の温かな雰囲気を広め、確実に学校全体をリードしてくれた子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。
- ◆また、6年生は、温かさに加えて、どんな場面であっても言動の全てが『一定のマナーの中にある』ことがたいへん立派だと思ひ、見てきました。これは、容易なことではありませんし、自然とそうなるものでもありません。  
日々の学習や生活、人との関わりの中で、自信をもったり、至らなさを自覚して謙虚にやり直したり…その連続（積み重ね）により、身に付くものと思ひます。
- ◆今後も伸び伸びと明るい態度と謙虚な姿勢の両立を叶え、大川小学校の卒業生として魅力あふれる人となるよう期待し、応援し続けたいと思ひます。改めて、ご卒業おめでとうございます。
- ◆在校生の呼びかけや歌も本当に素敵でした。厳かな中にも温かさが溢れる卒業式となりました。卒業生が築いてきた温かな学校文化を今後も1～5年生が脈々と引き継いでくれることでしょう。
- ◆1年間を通じて、「歴史ある大川小学校の伝統はここにあり」と今年の6年生が示してくれました。この姿を見た下級生は、この6年生に「近づこう、乗り越えよう」とする心もちます。  
あこがれを抱き、それを乗り越えようと努める…この改良の連続こそが、『大川小学校のよき伝統を築くこと』に他ならないと卒業式の頼もしい子どもたちの姿を見て、強く感じました。
- ◆この1年間、ご支援いただいた保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げますとともに、これまで同様、大川小学校への変わらぬご理解・ご支援をお願いし、今年度最後の御挨拶とさせていただきます。  
次年度もどうぞよろしく  
お願いいたします。

